

第59回 初島卯月レース2014

関東トラディションシリーズ(KTS)第1戦

Sailing Instruction

帆走指示書

2014年3月26日

【開催日】 2014年4月5日(土)～4月6日(日)
【開催水域】 相模湾および初島周辺海域
【主催】 (公財)日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎
【運営】 初島卯月レース2014実行委員会

1. 適用規則

1.1 国際セーリング規則 2013-2016(RRS)に定義された規則を適用。

1.2 JSAF外洋レース規則2009 (2012年一部改訂)

<http://www.jsaf.or.jp/rule/pdf/GRR2009.pdf>

1.3 JSAF外洋特別規定2014-2015(カテゴリー4モノハル)を適用。

http://jsaf-anzen.jp/pdf/J-OSR2014_Mo4_0228.pdf

1.4 海上衝突予防法

日没から日出までの間は海上衝突予防法を適用し、RRS第2章は適用しない。

日没時刻 : 4月5日(土) 18:06

日出時刻 : 4月6日(日) 05:21

1.5 ORC Rating Systems 2014 & International Measurement System 2014 を適用。

1.5.1 RRS87 に基づき、ORCAN 通達(2014 年 ORC レースにおけるクルー重量に関する取扱について)により、ORC Rating Systems 2014 の 200 は適用しない、したがって体重の制限はない。ただし、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。

1.5.2 ORC Rule 201. 2を変更し、搭載する飲料物・燃料の量を制限しない。

1.5.3 ORC Rule 206. 1を変更し、予備メインセール1枚の搭載を認める。

1.6 IRC規則2014 Part A、B およびCを適用。

1.6.1 RRS87に基づき、IRC規則2014の22. 4. 2は適用しない、したがって体重の制限はない。ただし、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。

1.7 RRS87に基づき、X-35 ワンデザイン証書を取得した艇は、X-35クラスルールA6.2を適用。

1.8 2014年 初島卯月レース レース公示

1.9 2014年 初島卯月レース 帆走指示書

1.10 なお、これらに矛盾が生じた場合は、本帆走指示書の内容を優先する。(規則63.7 の変更)

2. 責任の所在

2.1 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

2.2 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡による責任を負わない。

2.3 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態

で、十分な耐航性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。

- 2.4 オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよびその他全ての備品を確実に装備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所を全ての乗組員に熟知させておかなければならない。
 - 2.5 レースに参加するか否か、またはレースを続行するかの判断は全て各艇の責任のみにおいて決定される。RRS 規則4「レースすることの決定」参照。
 - 2.6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底しておく必要がある。
 - 2.7 レース委員会は不適当と認めた艇、及び艇長・乗員の参加を拒否することができる。
3. 参加艇への通告
- 3.1 通告は、4月5日(土)07:00より、諸磯ヨットオーナーズクラブ (MYOC)クラブハウスに設置されたレース本部の公式掲示板にて行う。
<http://p14.everytown.info/p14/737/0468826737/%E8%AB%B8%E7%A3%AF%E3%83%A8%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%83%BC%E3%82%BA%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%96/top.html>
 - 3.2 通告を海上で行う場合は、スターティングボート(以下:本部船)に音響一声と共にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。
 - 3.3 4月5日(土)以前に行う通告は、外洋三崎ホームページにて行うとともに、各艇の連絡責任者宛に、実行委員会事務局よりメール通知を行う。
 - 3.4 陸上レース本部においてのフラッグの掲揚、音響による通告、指示、連絡は行わない。
4. 帆走指示書の変更
- 4.1 変更は、4月5日(土)08:30までに公式掲示板に掲示する。
 - 4.2 変更を海上で行う場合がある。
5. クラブ旗・レース旗の掲揚
- 参加艇は上段より、JSAFクラブ旗(三角)とJSAFレース旗(四角)をチェックインから自艇のレースが終了するまでデッキより、1.5m以上の高さになるようバックステーに掲揚すること。バックステーの無い艇は同等と判断できる位置に掲揚すること。
6. レースコースと公式距離
- 6.1 レースコース
小網代沖網代崎灯浮標付近(スタート) ⇒ 初島(反時計廻り) ⇒ 網代崎灯浮標(右に見て) ⇒ 小網代湾口(フィニッシュ)
 - 6.2 スタート及びフィニッシュのアウトマークは、黄色円筒形ブイとする(夜間はブイトップ部にストロボライトを点灯)。
 - 6.3 公式距離 : 48マイル
7. スタート
- 7.1 日時 : 2014年4月5日(土) 09:55 (スタート予告信号)
 - 7.2 チェックイン
参加艇は09:35までに、L旗を掲揚した本部船をスターボードサイドに見てスターン側より通過し、セールナンバー及び乗員数を伝え、ライフジャケット着用の確認を受けなければならない。
 - 7.3 規則L5.4 スタートライン旗(オレンジ旗)「本部船準備完了」及び「“予告信号まもなく”を艇に告知するため」、スタート予告信号の最低5分前までにオレンジ旗掲揚と音響信号1声を発する。
 - 7.4 スタート方式
 - 7.4.1 RRS26 を適用する。
 - 7.4.2 全艇同時スタートとする。

- 7.4.3 スタート信号20分後にスタートラインを撤去する。(RRS A5 を変更し、スタートしていない艇はDNSと記録する。)
- 7.4.4 スタート予告信号旗は、外洋三崎クラブバージを用いる。
- 7.5 スタートラインは、スターボードサイドに位置する外洋三崎大エンサインを掲揚した本部船(ヨット: 陽焰「かげろう」 ツボイSWING31)のマストと、ポートサイドに設置するアウターマークを結んだ見通し線とする。
8. リコール艇の特定
- 8.1 RRS29.1 に該当する個別のリコール対象艇名をVHF71chで放送する場合がある(RRS29.1 への追加)。
- 8.2 前項に関する救済要求は受け付けない。
9. フィニッシュ予告とフィニッシュライン
- 9.1 本部船のマストとアウターマークを結んだ見通し線とする。
- 9.2 日没後は本部船マストに、錨泊灯と赤色灯縦2灯、アウターマークにストロボライトを点灯。
- 9.3 日没後のフィニッシュは、フィニッシュの5分前までにA符号(・―)を発光信号をもって連送し、本部船にフィニッシュ予告をすること。
- 9.4 前項に合わせて、フィニッシュ時に自艇のメインセールをライトで照射し、本部船からのフィニッシュ確認がしやすいようにすること。
- 9.5 艇名再確認のためにフィニッシュ後、艇名を発声にて本部船に申告し確認を受けること。
- 9.6 荒天のためにフィニッシュラインの設定が困難な場合には、小網代湾口のシーボニア岸壁と対岸の岸壁とを結んだ見通し線をフィニッシュラインとする。この場合には、赤色灯縦2灯はシーボニア岸壁側に設置する。なお、このフィニッシュライン変更については、フィニッシュ予告通信時に参加艇に対して告知する。
10. 失格に変わる罰則
- RRS第2章の規則違反以外の失格に代わる罰則として、早すぎるスタートをし、定められた方法でリコールを解消しなかった艇については、OCSに代えてタイムペナルティーとして所要時間に5%を乗じる。
11. タイムリミット
- 11.1 2014年4月6日(日曜日) 12:00 (正午)とする。
- 11.2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNF と記録される。(RRS35、RRS 付則A4、A5 の変更)
12. 通信規定の履行(義務)
- レース本部では参加艇の安全運航確保のため、通信規定を定める。参加艇はそれぞれを確実に履行しなくてはならない。
- 12.1 参加艇とレース本部間の通信手段は、携帯電話を使用する。
- 12.2 登録したすべての携帯電話機はスタート予定時刻 2時間前からフィニッシュ2時間後まで、常時通話可能な状態を維持すること。
- 12.3 付則-1の初島卯月レース通信要領に従い、携帯電話の通信運用をおこなう。
(スタート前チェック、回航報告、フィニッシュ予告報告あり)
なお、本レースにおいてはレース本部からの定時ロールコールは行わない。
- 12.4 正当な理由が無く、定められた通信を行わなかった場合は、所要時間に5~20%のタイムペナルティーを乗じる。
13. 帰着申告書類の提出(義務)
- 13.1 帰着申告は、所定の帰着申告書に必要事項を記入し、艇長署名の上、自艇のフィニッシュ後

2時間以内に当該レース本部または本部船に提出しなければならない。

- 13.2 航跡図は、初島灯台を“MAG. 0°”に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必事項をレース航跡図専用用紙に従い、正確に記入しなければならない。航跡等が乱雑に記入されている場合はその場で差し戻し、記入のし直しを求める場合がある。
- 13.3 提出書類が正しく記載されていない場合、あるいは提出期限に遅れた場合は、所要時間に5～20%のタイムペナルティーを乗じる。
- 13.4 帰着申告書および航跡図(レース航跡図専用)は、外洋三崎ホームページより入手できる。

14. レースの成立

各クラス1艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持ってレース成立とする。

15. レースの中止

- 15.1 本部船にN旗とA旗を掲揚し音響3 声を発してレースを中止する。
- 15.2 その後の通告は、公式掲示板に定められた方法にて掲示する。
- 15.3 エントリー締切日までに参加艇数が、3艇未満の場合は、レースを中止する。
- 15.4 悪天候などによるレースの中止は、レース当日の4月5日(土)08:00までにレース委員会が決定し、公式掲示板に掲示する。その際、レース委員会より各艇の連絡責任者宛に、電話連絡を行う。

16. インスペクション

レースの公平さの保持及びオーナー・艇長の避けられない責任を喚起するため、レース委員会の判断により、フィニッシュした全艇または任意に選択した艇に対して実施されることがある。

17. プロテスト委員会

プロテスト委員会は3名以上を以って構成され、審問および判決に関しては3名以上により行われる。

18. 抗議

- 18.1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して通告(赤色旗の掲揚等)すると共に、フィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後2時間以内に所定の抗議書により、レース本部に提出しなければならない。
- 18.2 プロテスト委員会が決定した審問の日時は公式掲示板に掲示される。双方の艇の連絡責任者宛電話連絡もおこなう。

19. レース艇の義務

- 19.1 スタートしない艇、およびレースリタイア艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない
- 19.2 連絡は必ず艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

20. 安全確保に関する事項

- 20.1 携帯電話用外部アンテナの設置を推奨する。
- 20.2 全乗員は離岸から着岸までの間、有効な浮力を有するライフジャケット(JSAF 外洋特別規定2014-2015の第5章01. 1に規定)を着用しなければならない。
- 20.3 膨張式ライフジャケット等安全備品については、緊急時に有効に作動させるため、機能確認を事前に済ませること。
- 20.4 全乗員の1/2以上の定員を有する検査有効期限内のライフラフトの搭載を推奨する。
- 20.5 全乗員はパーソナル高輝度ランプあるいはストロボライトの携帯を推奨する。

21. ゴミの処分(RSS55) 公示15を下記内容へ変更する。

規則55 は、環境責任を一層高める方向でセーリングの発展を支援するために導入された。今レースにおいても、主催者・外洋三崎は環境責任についての基本原則に従うこととする。

レース参加者は故意にゴミを水中に捨ててはならない。これにはセールをセットするときのゴムまたは毛糸のバンドも含まれる。

22. 成績の算出と発表

22.1 ORCC クラス

22.1.1 オーシャンコースをパフォーマンス・カーブ・スコアリングにより計算する。

22.1.2 CTで同順位の艇がある場合は、GPHの数値が大きい艇を上位とする。

22.2 IRC クラス

22.2.1 TCCによるタイムオンタイムにより計算する。

22.2.2 CTで同順位の艇がある場合は、TCCの数値が小さい艇を上位とする。

22.3 発表は外洋三崎HPにておこなう。暫定成績の早期掲載に努力する。

23. 表彰

23.1 ORCC クラス/IRC クラス

各クラス毎に、ファーストホーム賞と1～3位を表彰する。

23.2 表彰式

8月31日(日)相模湾ヨットフェスティバルレース、パーティー会場にて行う。

詳細は、外洋三崎ホームページに掲載および各艇の連絡責任者宛に連絡する。

24. 緊急救助体制(危機管理)

各艇からの連絡状況、気象、海象の状況から事故・遭難の可能性が高いとレース本部が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先に連絡し協議の上、当該艇の緊急連絡先より海上保安庁に捜索要請を行う。

25. レース本部

所在場所 : 諸磯ヨット管理事務所2階 『諸磯ヨットオーナーズクラブ(MYOC)』

設置期間 : 2014年4月5日(土) 07:00 ~ 4月6日(日) 14:00

電話番号(本部-1) : 090-2217-1646

電話番号(本部-2) : 090-6546-6013

FAX番号 : 050-3737-2919

26. 大会組織

大会会長	:	川久保史朗	(外洋三崎会長)
実行委員長	:	本田英二	(外洋三崎総務副委員長/諸磯・京急フリート)
レース委員長	:	石井秀哉	(諸磯・京急フリート)
プロテスト委員長	:	市原恭夫	(外洋三崎財務委員長・ルール副委員長)
副委員長	:	二松 工	(外洋三崎財務副委員長/油壺フリート)
副委員長	:	近藤 等	(外洋三崎安全・通信委員長/油壺フリート)
レーティング委員長	:	山下博史	(外洋三崎計測・レーティング委員長/油壺フリート)
NRO	:	中里英一	(外洋三崎事務局長)
スーパーバイザー	:	山田茂雄	(外洋三崎レース委員長)

【参考】

* 関東トラディションシリーズ2014(KTS)レース日程

第1レース	:	2014年 4月 5日(土)	第59回 初島卯月レース	外洋三崎主催
第2レース	:	2014年 5月 24日(土)	第64回 大島レース	外洋湘南主催
第3レース	:	2014年 9月 27日(土)	第59回 神子元島レース	外洋三崎主催
第4レース	:	2014年 11月 1日(土)	第52回 小網代カップレース	外洋三浦主催

付則-1

通信規定要領

目的	時刻時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
スタート前の通話確認	09:00 ～ 09:30	本部⇒各艇	本部から： ①艇名と通話感度の確認 レース艇から： ①感度の報告	* 接続性、通話感度、明瞭度等の確認を行う。 * 呼出方法： 本部が各艇を順次呼びだす。 * 2度の接続不可の場合、申告された2台目の携帯電話に接続を試みる。
初島回航時刻の報告	初島灯台 Mag.0° 確認時	各艇⇒本部	①通過時刻	* 電波状況によって、報告が困難な場合は、通話可能になり次第、速やかに連絡すること。
フィニッシュの事前予告	フィニッシュ想定 1時間前	各艇⇒本部	①自艇名 ②小網代灯浮標まで xx マイル ③艇速 xx ノット ④フィニッシュ予定時刻	* 電波状況によって、1時間前予告連絡が困難な場合は、通話可能になり次第、速やかに連絡すること。 * この場合、タイムペナルティーの対象外とする。 * フィニッシュライン変更があった場合、通告する。
レース中の非常時通報	随時	各艇⇒本部	①自艇名 ②位置(緯度・経度) ③気象・海象 ④艇・乗員の状況	視認できる艇、船舶があれば本部に連絡する。

レース本部電話番号(変更がある場合は公式掲示板で通知する)

本部-1	090-2217-1646
本部-2	090-6546-6013

*** 事故防止、捜索協力等のために国際VHFの運用を推奨する**

1. スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のためCH16を聴取常時受信可能な状態すること。
2. 毎時05分から、CH71の聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。
(毎時0分から国際VHFで聴取可能)
3. 緊急時、本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
4. CH16は呼出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

以上